

## 海上安全環境部

### ◇簡易プロフィール

- ・所属、職種  
海上安全環境部  
海事技術専門官  
(船舶測度官)
- ・入局年月日  
令和3年4月1日



### ◇略歴

令和3年4月1日 関東運輸局\_海上安全環境部\_船舶検査官  
令和5年4月1日 現職

### ◇現在の業務内容

船舶の大きさを表す指標として“トン数”という数字があり、そのトン数を算定し・公証する仕事が船舶測度官です。トン数を算定するためには船の寸法を知る必要があるため、普段の業務では造船所から提出される図面を確認したり、建造中の船舶に赴いて長さを計測したりするなど様々な方法を用いて船の寸法を算出しています。

また、船が出来上がってから後も、定期的にトン数のチェックを行なうことや、最後には解体された事実を確認することも測度官の仕事の一つです。

### ◇職場の雰囲気はどうか

同僚とは常日頃から気兼ねなく会話ができ、業務で疑義があればすぐに上司と相談することができる環境です。また、業務上他の課の職員とも頻繁に接する機会があり、自分一人で仕事をこなすというよりは周囲の方々と協力して仕事を進めていくことが多いです。

◇やりがいを感じる瞬間は  
どういったときですか



造船所が船舶を建造する際は、まず要求される船のスペックに沿って船の形を定め、図面を作成します。その後図面に基づいて船の材料である鉄板を切断し、切り分けた鉄板をつないで船の形に組み立てていきますが、この一連の作業には相応の時間を要します。

そのため、船舶を1隻建造するには小さなサイズであっても数ヶ月から1年ほど、大きなものになれば数年単位の時間がかかります。

船舶系技官もこの長期的な建造工程に合わせて仕事を進めていくので、長い間自身が担当していた船舶が無事に就航した時はかなりの達成感がありました。

## ◇国家公務員を目指す方へのメッセージ

海事技術専門官として採用されると基本的には全国で勤務することになります。勤務する地方によっても取り扱う船の種類が異なり、様々な船を担当することで豊富な知見を得ることができます。

加えて、海事技術専門官は検査官や測度官あるいはPSC官など担当する業務も多岐にわたり、船について色々な切り口から経験を積んでみたいと考えている方にはとてもいい職種だと思いますので、皆様の就職先としてご一考いただければ幸いです。

